



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956 URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 隆

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 社長室室長

(氏名) 東郷 正人

TEL 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	25,002	△0.3	1,054	△3.6	1,160	0.1	683	2.2
25年3月期第1四半期	25,067	9.7	1,094	38.6	1,160	41.6	669	61.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,004百万円 (87.9%) 25年3月期第1四半期 534百万円 (44.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	34.71	—
25年3月期第1四半期	33.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	75,050	42,455	53.8
25年3月期	74,522	41,755	53.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 40,355百万円 25年3月期 39,713百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の第2四半期末の内訳 普通配当 12円00銭 ボンド発売60周年記念配当 2円00銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,700	2.9	2,390	△5.0	2,420	1.1	1,350	1.4	68.53
通期	111,400	6.3	5,950	10.6	5,980	11.5	3,350	8.6	170.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	20,353,720 株	25年3月期	20,353,720 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	653,516 株	25年3月期	653,488 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	19,700,218 株	25年3月期1Q	19,700,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明 . . . . . P. 2
- (2) 財政状態に関する説明 . . . . . P. 2
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 . . . . . P. 3

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 . . . . . P. 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 . . . . . P. 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 . . . . . P. 3

3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 . . . . . P. 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 . . . . . P. 6
- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 . . . . . P. 8
  - (継続企業の前提に関する注記) . . . . . P. 8
  - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) . . . . . P. 8
  - (セグメント情報等) . . . . . P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀の打ち出す大規模な金融緩和をはじめとする経済政策を背景に、円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直し等、企業業績や景気の先行きに明るさが見られる状況となりました。一方、海外においては、中国やアジアの新興国は減速感はあるものの成長を維持し、米国では堅調な個人消費に支えられ回復傾向を持続しました。

当社グループの関連業界では、住宅業界においては、景気回復に伴う期待感や消費増税前の駆け込み需要により、戸建て住宅やマンションの新設およびリフォーム工事が堅調に推移しました。土木建築業界においては、復興需要の継続と公共投資に対する大型補正予算が編成されたことにより、インフラ関連を中心とした補修・補強工事ならびにストック市場における補修・改修工事が堅調に推移しました。自動車業界においては、一部で北米への輸出が好調に推移するものの、前年のエコカー補助金制度の反動により、業界全体としては前年を下回った生産状況で推移しました。電子・電機業界においては、為替の円安進行により輸出関連企業を中心に回復基調は見られるものの、依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、平成27年3月期を目標到達年度とする中期経営計画の基本戦略に従い、コア事業での確固たる地位の確立と信頼性の確保による利益の創出、事業拡大による成長戦略、アジア市場への展開を売上達成の基本姿勢として、強い生産と物流体制、スピードのある研究開発部門の構築に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高250億2百万円(前期比0.3%減)、営業利益10億54百万円(前期比3.6%減)、経常利益11億60百万円(前期比0.1%増)、四半期純利益は6億83百万円(前期比2.2%増)となりました。

セグメントごとの概況は、次のとおりであります。

#### ① ボンド事業部門

住宅関連においては、戸建て住宅およびマンションの新設着工戸数が堅調に推移したことから、内装工食用接着剤、建材用接着剤および戸建て用シーリング材が順調に売上を伸ばしました。産業資材関連においては、離型剤や紙関連用途向け製品が売上を伸ばしましたが、自動車、電子・電機業界等への販売が低調で売上は前年並みに推移しました。土木建築関連においては、道路、トンネル、橋梁等のインフラ市場における補修・補強工事ならびにビル、マンション等のストック市場における補修・改修工事が増え、補修材や工法、また、ビル建設用シーリング材が順調に売上を伸ばしました。一般家庭用関連においては、ホームセンターにおける既存製品の販売が低調であったものの、新製品の導入により販売拡大策を展開した結果、順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、売上高120億81百万円(前期比5.1%増)、営業利益9億68百万円(前期比1.7%増)となりました。

#### ② 化成品事業部門

化学工業向けにおいては、エタノールの販売が好調であったものの、産業向け商品等の需要減により売上は前年並みで推移しました。塗料業界向けにおいては、自動車補修や飲料向けの商品等が伸び悩み、売上は前年実績を下回りました。電子・電機業界向けにおいては、一部業界の回復基調により封止材等の基板関連商材に動きはあったものの、全体としては売上が前年実績を下回りました。自動車業界向けにおいては、為替の円安基調により北米向け自動車販売が好調に推移するなど機能性材料等の販売は堅調なものの、前年のエコカー補助金制度の特需をカバーするまでには至らず、売上は前年実績を下回りました。

以上の結果、売上高118億88百万円(前期比5.2%減)、営業利益1億23百万円(前期比27.6%減)となりました。

#### ③ その他

工事請負事業(土木建設工事業)においては、耐震補強および補修・改修工事が順調に推移し、売上を伸ばしました。化学品データベース事業においては、海外向けのSDS作成支援ソフトの販売および受託開発等が順調に売上を伸ばしましたが、前年に売上が好調であった海外SDS作成支援システムの実績をカバーできず売上は前年実績を下回りました。塗料事業においては、住宅設備、建築物およびレジャー用途向け製品の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高10億32百万円(前期比0.8%増)、営業損失は32百万円(前期は23百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ5億27百万円増加し、750億50百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が10億54百万円減少したものの、現金及び預金が4億23百万円、商品及び製品が3億26百万円、未成工事支出金が4億4百万円、投資有価証券が3億22百万円増加したこと等によるものです。また、負債は前期末に比べ1億72百万円減少し、325億94百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が7億48百万円増加したものの、未払法人税等が9億10百万円、賞与引当金が4億26百万円減少したこと等によるものです。純資産は前期末に比べ7億円増加し、424億55百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が4億8百万円、その他有価証券評価差額金が1億77百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成25年5月14日発表時の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,427	14,851
受取手形及び売掛金	33,171	32,116
有価証券	99	99
商品及び製品	5,184	5,511
仕掛品	257	276
原材料及び貯蔵品	754	840
未成工事支出金	100	505
その他	1,070	1,007
貸倒引当金	△ 104	△ 85
流動資産合計	54,961	55,124
固定資産		
有形固定資産	12,075	12,088
無形固定資産	1,214	1,165
投資その他の資産		
投資有価証券	4,937	5,259
その他	1,411	1,495
貸倒引当金	△ 78	△ 83
投資その他の資産合計	6,270	6,672
固定資産合計	19,560	19,925
資産合計	74,522	75,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,093	24,841
短期借入金	299	355
未払法人税等	1,090	180
賞与引当金	884	457
役員賞与引当金	77	21
その他	2,295	2,623
流動負債合計	28,741	28,479
固定負債		
退職給付引当金	809	782
役員退職慰労引当金	214	201
その他	3,002	3,130
固定負債合計	4,026	4,115
負債合計	32,767	32,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	30,751	31,159
自己株式	△ 622	△ 622
株主資本合計	38,915	39,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	800	978
為替換算調整勘定	△ 2	53
その他の包括利益累計額合計	798	1,031
少数株主持分	2,041	2,100
純資産合計	41,755	42,455
負債純資産合計	74,522	75,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	25,067	25,002
売上原価	20,892	20,725
売上総利益	4,175	4,276
販売費及び一般管理費	3,081	3,222
営業利益	1,094	1,054
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	43	46
為替差益	—	55
その他	79	66
営業外収益合計	126	172
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	39	40
持分法による投資損失	1	0
その他	12	19
営業外費用合計	60	66
経常利益	1,160	1,160
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	1	2
投資有価証券評価損	11	3
会員権評価損	—	2
その他	21	1
特別損失合計	34	9
税金等調整前四半期純利益	1,125	1,151
法人税、住民税及び事業税	107	182
法人税等調整額	296	226
法人税等合計	403	409
少数株主損益調整前四半期純利益	721	741
少数株主利益	52	58
四半期純利益	669	683



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	721	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 185	204
為替換算調整勘定	△ 2	56
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	△ 187	262
四半期包括利益	534	1,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	917
少数株主に係る四半期包括利益	17	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,496	12,546	24,043	1,024	25,067	-	25,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	86	185	20	205	△ 205	-
計	11,595	12,633	24,228	1,044	25,273	△ 205	25,067
セグメント利益又は損失(△)	952	170	1,122	△ 23	1,099	△ 4	1,094

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	ボンド事業部門	化成品事業部門	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,081	11,888	23,970	1,032	25,002	-	25,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	89	231	18	250	△ 250	-
計	12,224	11,978	24,202	1,050	25,253	△ 250	25,002
セグメント利益又は損失(△)	968	123	1,091	△ 32	1,059	△ 4	1,054

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料、工事請負、化学品データベースおよび不動産賃貸の事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。